

を見据え、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り健やかに過ごせるまちを実現するため、「元氣いきいき教室」や、地域の集いの場で住民の皆様が自主的に活動されている「いきいき百歳体操」を活用して、高齢者の心身の特性に応じた、きめ細やかな保健事業と介護予防を一体的に実施することにより、健康寿命の延伸及び介護予防に取り組んでまいります。

○障害者福祉サービス施設の整備

障害者福祉につきましては、障害者の重度化や「親亡き後」を見据え、障害の有無によって分け隔てられることなく、住み慣れた地域の中で安心して自立した生活ができるように、幼児期から大人になり就労するまでを切れ目なく支援を行う多機能型障害福祉サービス施設を、民間の社会福祉法人

により植田地区に整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築を目指すとともに、施設内に災害時等に使用できる避難場所を設け、植田地区住民福祉協議会の要望に沿うべく整備を進めてまいります。

また、障害児に対する施策につきましては、子どもの発達課題に対して、早期発見・早期介入ができる支援体制を拡充するため、多機能型障害福祉サービス施設には児童発達支援センターの設置を予定しており、保育園等においては、障害児や医療的ケア児を受け入れるなど、療育支援体制の充実を図ってまいります。

○乳幼児等医療費助成制度の拡大・充実

乳幼児等医療費助成制度につきましては、昨今の社会情勢等を踏まえ、令和5年度から現在の通院の対象年齢である小学校

6年生までを、中学校3年生まで引き上げ、さらに一部負担金の500円につきましては、住民税非課税世帯において入院・通院とも無料となるよう、制度の拡大・充実を行ってまいります。

5 夢や希望を育み、絆をつくる人づくり

○ICTを効果的に活用した教育の推進

情報化社会に生きる子どもたちにとって、教育における情報通信技術（ICT）を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められています。このため、本町では、国が進める「GIGAスクール構想」のもと、情報機器端末を活用した教材による教育を推進するとともに、継続的に財源を確保し、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを支

○地域とともにある学校づくりの推進

「地域とともにある学校づくり」では、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域との絆を強めるとともに、次代の担い手を育成するため、学校運営協議会による地域と共にある学校づくりを推進し、さらなる地域連携・協働体制の構築に努めてまいります。

○「NHKのご自慢」の開催

令和5年6月18日に、国民的人気番組である「NHKのご自慢」の開催が決定しておりますので、町民の皆様の御参加などの御協力をお願いいたします。

6 産業活性化・観光振興による活気あるまちづくり

○地域おこし協力隊の導入、特産品開発

新たな特産品の開発及び振興につきましては、地域おこし協力隊を導入するとともに、広島カキやムラサキ麦、町木である梅を推奨し、本町の特産品を活かすため、町公式キャラクターや観光資源等を活用して、多くの人に愛される商品の開発を進めてまいります。

受付と土曜開庁日の受付につきましては、今後も継続してまいります。各地区や事業所などに職員が出向いて行ってまいります。「出張申請窓口」につきましても、積極的に展開するとともに、マイナンバーカードの普及を通じて、町民の方々にとって利便性の高い社会生活を推進してまいります。

○ご当地ナンバープレートの導入

町の魅力発信を図るとともに、町民の皆様に愛着を深めていただくことを目的に、町の魅力を表現した原動機付自転車のご当地ナンバープレートを制作してまいります。

○テレビのデータ放送を活用した情報発信、仮想現実（VR）を活用した観光施設の魅力発信

広報活動につきましては、さらなる情報発信の強化を図るため、民放放送局のデータ放送を活用し、スマートフォンでの操作が苦手な方やインターネット環境がない方など、子どもから高齢者まで、テレビを通じて容易に情報を入手できる機能を導入してまいります。

◆おわりに

令和5年度の施政方針の大綱を申し上げましたが、平成30年7月豪雨災害からの一日も早い生活再建、復旧・復興を必ずや成し遂げるために、高い次元の志を持って取り組むとともに、未来に向けて、希望を抱ける行財政運営を行いたいと考えております。

○ベイサイドビーチ坂の賑わい創出

また、本町のムラサキ麦を原材料としたビールは、製造再開に向けた検討を行っているところであり、原材料の確保や新たな生産体制の確立に努めるなど、地域資源を通じて元気な坂町を目指してまいります。

観光振興につきましては、ベイサイドビーチ坂に整備した物販施設等で、地元特産品を販売するとともに、海でのマリンスポーツやビーチス

ポーツ、背後地でのトレッキングの拠点にできる本町を象徴する施設とし

て、町内外に魅力や情報を積極的に発信してまいります。

また、ベイサイドビーチ坂を通じた観光・地域振興をより効果的なものとするよう、地域おこし協力隊の導入や、令和4年度、広島県から陸域部分にわたる管理委託を受け、年間を通じた賑わいの創出と交流人口、関係人口の増加を図るとともに、新しい生活様式に対応した仕事ができる場所を提供し、本町の観光と商業、農業、漁業などの地域産業が連携した地域経済の活性化を図ります。

さらに、海水浴シーズンにおける国道の渋滞緩和、利用者の安全対策を図る横断歩道橋や情報伝達施設などの整備について進めているところであり、引き続き、早期完成に向けて県などの関係機関へ働きかけてまいります。

7 効率的な行財政運営を図るまちづくり

○デジタル化の推進

デジタル変革を通じた新しい地域と社会の構築を目指し、情報通信技術（ICT）を活用した地域課題の解決、行政システムのオンライン化、行政システムの標準化・共通化、情報の漏洩防止対策の徹底等について重点的に取り組み、引き続き、住民密着のデジタル化を進めてまいります。

また、デジタル社会の基盤となりますマイナンバーカードの取得促進につきましても、新たに、横浜出張所及び小屋浦出張所におきましても、交付や更新などの手続きができるように機器の整備を行ってまいります。

また、毎週木曜日に午後7時まで役場で行ってまいります専用窓口の延長